

レジメン名	(大腸癌) ペバシズマブBS+FOLFIRI◆	適応	大腸癌
		1クール日数	14日
		上限クール数	なし

一次治療（術後補助療法を除く）：……………5mg/kg
 二次治療/前治療からの変更理由：増悪以外（副作用、患者希望）……………5mg/kg
 二次治療/前治療からの変更理由：増悪による変更……………10mg/kg

【注射】		投与量\day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
<<主管①>> 生理食塩液【100】mL/瓶 キープ用 中心静脈注射	1 瓶		●													
<側管①> ■ペバシズマブBS点滴静注用 (100/400) 生理食塩液【100】mL/瓶 90分かけて 抗癌剤中心静脈注射（薬剤調製）	mg/kg 1 瓶		●													
<側管②> 生理食塩液【50】mL/袋 フラッシュ用 中心静脈注射	1 瓶		●													
<側管③> デキサート注射液【3.3】mg・1mL/管 デキサート注射液【1.65】mg・0.5mL/管 パロノセトロン点滴静注バッグ0.75mg・50mL/袋 15分かけて 中心静脈注射	1 管 1 管 1 袋		●													
<側管④> 生理食塩液【50】mL/袋 フラッシュ用 中心静脈注射	1 瓶		●													
<側管⑤> ■イリノテカン塩酸塩点滴静注液 (40/100) 大塚糖液【5% 250mL】/袋 2時間かけて 抗癌剤中心静脈注射（薬剤調製）	150mg/m ² 1 袋		●													
<側管⑥> 生理食塩液【50】mL/袋 フラッシュ用 中心静脈注射	1 瓶		●													
<<主管②>> ■レボホリナート点滴静注用 (25/100) 大塚糖液【5% 250mL】/袋 2時間かけて 主管①と付け替え、側管⑤と同時に開始 中心静脈注射（薬剤部調製）	200mg/m ² 1 袋		●													
<側管⑦> ■フルオロウラシル注（5-FU） 主管②側管⑤終了後 抗癌剤中心静脈注射（薬剤調製）	400mg/m ²		●													
<側管⑧> ■フルオロウラシル注（5-FU） 生理食塩液【50】mL（mL入力） 46時間かけて インフューザー使用 抗癌剤局所持持続注入（薬剤部調製）	2400mg/m ² 24 mL		●●													
生理食塩液【20】mL/管 血管確保用 中心静脈注射	1 管		●													
生理食塩液【500】mL/筒 フラッシュ用 中心静脈注射	1 筒		●													

腸/化療/≤5h

【内服】		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
アプレピタントカプセル 125mg 1日1回 点滴の60~90分前	1 C	●														
アプレピタントカプセル 80mg 1日1回 朝食後	1 C		●	●												